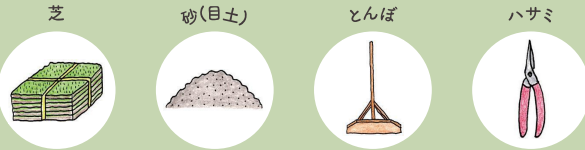


芝生の張り方・育て方

用意するもの



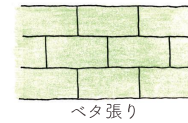
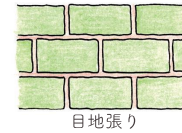
芝生の豆知識

芝生の種類と選び方

芝生には日本芝と西洋芝がありますが、西洋芝はデリケートで管理が難しいので、コウライシバなど日本芝がおすすめです。日本芝の中でも高価な省管理型の品種は成長がかなり遅いです。そのため芝刈り頻度が少なくなるので管理が楽です。

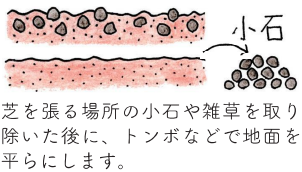
張り方の種類と選び方

芝生の張り方には目地張りやベタ張りなどがありますが、ベタ張りの方が早くきれいに完成します。目地張りは雑草も生えやすくおすすめ出来ません。



張り方 (張り付け手順)

1. 地面をならす



芝を張る場所の小石や雑草を取り除いた後に、トンボなどで地面を平らにします。

2. 砂を入れる



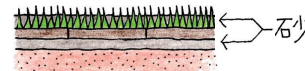
凹凸を少なくするため砂を入れて平らにした後、地面にたっぷり水やりをします。

3. 芝を張る



角から芝を張っていきます。芝の根と地面が密着するように両手で押さえます。端部はハサミで切って調整します。

4. 砂(目土)を入れる



芝を張り終わったら、その上から砂(目土)を入れて平らになります。芝の葉先が5mmほど見える程度です。砂の量の目安は1㎡に7~8kgです。

砂(目土)で芝生をしっかり覆うと活着率がアップします!



砂(目土)を入れる目的

- 芝生の隙間や目地を埋める。
- 乾燥を防ぐ。
- 砂(目土)の重みで芝の根と地面を密着させる。

5. 水やりをして最低1ヵ月養生する



最後に水やりをします。芝が根付くまで毎日水やりをします。砂(目土)が見えなくなれば完成です。

育て方 (張り付け後の管理)

水やり

地表面が乾いたら水をたっぷり与えてください。移動式のスプリンクラーなども便利です。



10cm以上には伸ばさないように2~4cm程度で頻繁に刈り込んでください。



刈込みを多くすることで雑草対策になります。刈り草を放置していると蒸れて病気になるため、刈った直後に取り除いてください。

刈込み

10坪未満なら電動コード式、10坪以上ならエンジン式の芝刈り機がおすすめです。ただし、住宅地等で騒音配慮が必要な場合は充電式も検討してください。手動式芝刈り機は刈込み時の抵抗が大きいためおすすめできません。



肥料

芝専用の肥料を説明書き通りの与えてください。毎年4月に1回で十分です。旺盛に育っている場合は、肥料を与えなくても大丈夫です。



雑草対策

芝刈り頻度を多くすると雑草が減ります。残った雑草は手で抜いてください。芝生が枯れない除草剤もありますが、もし使用する場合は、一部で試してから全面に使用してください。



よくある質問

- Q** 芝を購入した後の管理方法を教えてください。
- A** 芝は購入した日に張り終えた方が良いでしょう。翌日以降になる時は、束になってヒモを外し、1枚1枚表を向けて地面に置きます。根の土が流れない程度に水やりをしてください。束ねたままだと、光も入らず蒸れて枯れます。
- Q** 根切りは必要ですか？
- A** 必須ではないので、余裕があれば実施してください。
- Q** 踏圧によって芝生の土が硬くなります。どうすれば良いですか？
- A** 可能であれば毎年3~4月に目土入れをしてください。芝生全面に厚さ2cmの砂を敷くだけです。目土(砂)の層が出来て締め固まりにくくなります。

- Q** 芝生にスギナが生えて困っています。対処方法を教えてください。
- A** スギナは地中に地下茎を走らせて繁茂しますが、すべての地下茎を取り除くことは困難です。芝刈り頻度を多くして地上部を常にカットしていると、弱ってきます。スギナは酸性土壌を好むので、定期的に有機石灰を芝生にまいて土壌pHをアルカリ側にもどす方法もあります。
- Q** 芝生にキノコが生えますが大丈夫ですか？
- A** 大丈夫です。土や肥料の有機物を分解するためにキノコが発生します。しばらくするとなくなります。

木の植え方・育て方

用意するもの

スコップ



バーク堆肥40リットル



細い丸太支柱1本



木めの麻ヒモ



知っておきたい

植え付け前の豆知識

苗木の選び方 /

鉢底から根が出ているものなど、根鉢がしっかりした苗木を選びましょう。



苗木の保管方法 /

水やりを行い、立てて置きましょう。寝かせると樹木が休眠状態になり、活着率が低下します。



植える場所の選び方 /

セレクトした植物が好む日照条件にあった植栽場所を選びましょう。

植え付けに適した季節 /

植え付け最適は春ですが、それ以外の季節でも可能です。ただし暑さ寒さが厳しい時期は避けてください。

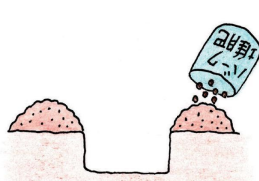
植え方（高さ1.5mの場合）

1. 植え穴を掘る



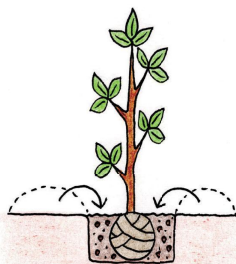
根鉢(ねばち)の直径の1.5倍の植え穴を掘ります。深さは根鉢の高さと同じにします。

2. 堆肥を混ぜる



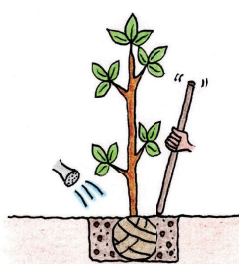
掘り上げた土にバーク堆肥(20リットル)を混ぜます。通気性と排水性が高まります。

3. 根鉢を入れる



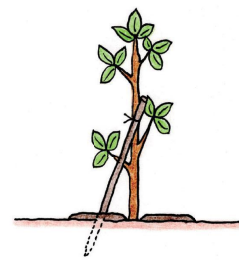
植え穴に根鉢を入れ、2で掘り上げた土を埋め戻します。ビニールポットの場合は、ポットを取り外して植えます。

4. 土を密着させる

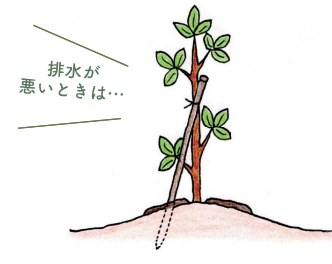


たっぷり水やりしながら、根鉢と土が密着するように棒などで土を突きます。根鉢の天端(てんば)と地表面を同じ高さにします。

5. 支柱を立てる



斜めに立てた丸太支柱と苗木を麻ヒモで結びます。仕上げに、水やりをしてから地表面をバーク堆肥(20リットル)で覆うと、保湿性がアップし活着率が高まります。



排水が悪いときは...

排水が悪い場合は地面より土を盛り上げて植え付けます。

育て方（植え付け後の管理）

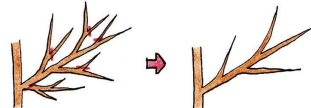
水やり

地表面が乾いたら水をたっぷり与えてください。水やりを自動で行う灌水装置もあります。水を多く必要とするハナミズキやアジサイ、乾燥気味でも育つシャリンバイなど、樹種によって必要とする水分量が異なります。



剪定

1~2年は枝葉を多くして樹勢を付けたいので、剪定は最低限度にします。3年日以降は混み合った部分の枝と枝の分かれ目で剪定すると自然樹形を保つことができます。



肥料

毎年2月に1回の寒肥(かんごえ)だけで十分です。お好みの肥料袋の説明書き通りに与えてください。与えすぎると病虫害の原因になりますので注意します。



病虫害対策

水やり、適度な剪定や施肥を行い健やかに育てるだけで対策になります。病虫害が発生した場合は、枝葉ごと切り取り処分してください。大きく広がった場合は、市販の殺虫剤や殺菌剤を説明書き通りに使ってください。



よくある質問

- Q パーク堆肥でなく腐葉土でも良いですか？ A 完熟していて葉の原形がなくなっていれば大丈夫です。
- Q おすすめの肥料を教えてください。 A 醗酵油かすは臭いが少なく、土壌改良にもなるのでおすすめです。
- Q どのような支柱を使えば良いですか？ A 一番細い丸太支柱で十分です。
- Q 剪定に必要な道具を教えてください。 A 剪定バサミのみで良いですが、安価なモノは避けます。
- Q 支柱はいつまで必要ですか？ A 2年目までです。3年日以降は不要です。